



T.K.K. Princess

すっごーい
あなた、とっても立派なモノ持ってるのね

ワッ
ワッ

きらきら輝く不思議なお姉さんは
無邪気に笑うと、ボクのいきり立った
モノをその手で優しく包む。
絶妙な力加減と手袋の感触が
たまらない

あはっ、びくびくって
とっても元気ね！

ああっ
そ、そんなにしたら、もうでちゃう

きやつー!?

げゃわんわんっ

げんん

げんん

あああ
あああ
あああ
……

あつという間に暴発した
白く濁った粘液は
しゃくりあげる肉棒によつて
撒き散らされながら
お姉さんをよごしていく

.....

トロキ...

ちよつとお
もう終わりなわけ？

少しの沈黙の後
お姉さんが不満そうに
口を開く

うう...
いゝいゝめんなさう...

ええっ!?
あ・・・ああああっ

こおーんな立派なモノなんだから
まだまだイケるでしょ?

ひああっ、だめえ
ま、また出ちゃ・・・っ

ぺろりと舌なめずりをした
お姉さんは、さつきとは違う
すごい勢いでボクのモノを
扱き始めた

見掛け倒しじゃないってここ
少しはみせてもらわないとね!

信じられないほどの刺激に
ボクの体はがくがくと震え
言葉は最後まで続かなかった

あはっ出たあ
やれば出来るじゃない

びゃ
わ
わ

びゃ
ん
ん

び

び

ガ
グ

ガ
グ

あまりの衝撃に
ボクは言葉も出ない
でも飛び散る精液に
汚されてうっとりしている
お姉さんはとても
エッチでキレイだった

どお？気持ちいい？

は、はい

こんな恥ずかしい格好で
扱われてるのに
しつかり大きくしちやつて
カワイイ

グシ
コス
ミッ
ツ

ああ、そ、そんなに
したらもう・・・

ああっ、で……
ええっ!?

ふふっ、出したい?
でもだーめ

そ、そんな……

お姉さんの手がぎゅうつと
ボクのペニスを握り締め
弾けようとしていた精液を
せき止めてしまう

きゃうううん

もう少し頑張りなさい
男の子☆

あつ、出るっつ
ああああつっ

ど

びゃ

びゃん

ばん

射精しそうになつては
せき止められる
それを何度も繰り返され
ようやく放出が許されたときには
ボクは息も絶え絶えになっていた

よく頑張ったね
ご褒美にもう一発
又いてあげる☆

ええっそんな
も、もう・・・

ヤ
ロ
オ

そうかしら？この間も2回できたし
キミなら全然大丈夫だと思うよ
ほら、逃げないの！

あああつ
ひああああつ

びゅ
るるる

ぐん
ぐん

びゅ

ほらあつ言った通りじゃない
2回目なのにこんなに出しちゃってえ

逃げようとしても
がつちり押さえ込まれて
逃げられないボクは
ただ身体をがくがくと
痙攣させ、お姉さんの
手コキに翻弄される

限界を伝えるような
耳鳴りの中に
お姉さんの嬉しそうな声が
遠くで混じって聞こえた

あっ、ああ。。。んぐうっ

ボクのみつともない喘ぎに混じって
しゅにしゅにと手袋が肌を擦る音が響く
目の前にはいたずらっぽく微笑む
お姉さん

目の前にひざまずいて
ペニスを包むお姉さんは
とてもキレイで・・・
でもボクは相変わらず
こみ上げてくる絶頂を
こらえきれない

ああっ、も、もう出るっっ

しゃっ
ゲシュ
ストッ
しゃに

あはっ出た出た☆

あっ、ああ……

ど

ひゃ

ぐん
ぜん

射精の衝撃に震えながら
お姉さんの楽しそうな表情が
まだ終わらないことを
語っているのがわかった

ふふっぬるぬるになっちゃったねー
こういうのも気持ちいいでしょ？

さつき出したばかりの粘液を
手袋にまとわりつかせて
にちゃにちゃといやらしい音を
響かせるお姉さん

うああ・・・
それ、だめえ・・・

にちゃ
くちゅ
じゅわ

ああっ、うあああっ

ぬるぬるとした快感に
2度目にも関わらず
あつという間に果ててしまう

びゅ

くん

がっ

びゅん

2回目なのにもう出しちゃったの？
本当にキミは堪え性がないわねっ

うう……

ふふっ見て
こんなにどろどろ・・・

キミ、出すのは早いけど
こんなに沢山何回も出来るのはすごいよ
もつと自信持っていいんじゃない？

けなされてるのが褒められてるのか
わからないけど、ぼんやりとした
思考の中で精液で汚れたお姉さんは
やっぱりエッチでキレイだと思った

サロギ...

こ、だ、だめ・・・だよ
こんなところで・・・

あらあ？そのわりには
しつかり起立しちやつてるわよ

うう・・・
そ、それは・・・

誰か来ちやつたら
大変だね

あつそ、そんなにしたら・・・

しゃべ
しゃべ
しゃべ

ああっ、ま、また・・・

いつかのようにお姉さんが
ペニスを握り締めて
射精をさせてくれない

ふふっ我慢してから出したほうが
気持ち良かったでしょ？

うう・・・そんなあ

グーッッッッ

んっ



あはっ出た出た☆

あっあああっ

びゃねっ

びゃっ

びん

ぞっ

ぞっ

が

が

焦らされた後ようやく許された射精に
膝が震え、ボクは反射的に踏ん張った

ほらっがんばれ男の子っ



あ……ああ……

お姉さんはまだ手を離してくれない
言葉の変わりにくすつと笑う
息遣いが伝わってきた

× ○ ・ ・
しゅぽ
しゅぽ

ほら、くちゅくちゅって
いやらしい・・・

くあつあああつ

何度経験しても2度目の
背筋を駆け巡る刺激に
声を抑えることが出来ない

ふふっ膝震わせちやっ
て生まれたいの☆
鹿さんみたい

あはっすっごい飛んでる☆

ど
ぶ

びゅんっ
ぐん

せんと
ぐん

手コキの絶頂に弾け飛ぶ精液を見て
楽しそうに笑うお姉さん

ボクはただひたすら
快感に震えてるだけだった

はあ、
はあ・・・

ふふ、
すごいどろどろ・・・

ぜん・・・

でもこっちはまだまだ
頑張れそうねっ☆

ぐにぐにと手を動かす
お姉さんの言葉にめまいがした

あはっ、やっぱりキミすごいね
もうこんなになってる

これなら1日に何回でも出来そう☆

自分でも不思議だけど
お姉さんに触られると
自然と大きくなってしまう

さわ

くに

しゃん

くに

さわ

息がかかりそうなほどペニスに顔を近づけた
お姉さんの姿にとってもドキドキした

んっちゅ……れろっ

あ、あぁっお、おねえさん……
そ、それ……

舌を這わされる初めての感覚に
ボクはいつも以上に
情けない声をあげていた

ちゅ

ちゅ

くちゅ

ぺち

ちゅるっ、んんっおいし……

びゅん

ぐん

ぐん

ふふっこんなに震えて
暴れん坊さんね

ぐん

すんっキミのコレ
すんごく熱くなってる...

うん

ふふっこんなに震えて
暴れん坊さんね

ぐんぐん

すんっキミのコレ
すんごく熱くなってる……

びゅん

ぐん

うん

[illegible][illegible]

何回やっても沢山出るね〜

にゅと笑うお姉さんの手は
相変わらずボクのペニスを離してない

くんにゅ

さわ

くんにゅ

さわ

もちるん、まだまだ
イけるよね？

あっあうううあああうう

びゅる

るるるっ

びく

びくん。

連続射精の快感は何度体験しても
すさまじく、精と同じように
声も搾り出すように叫ぶ

はあ、はあ……

すごい……こんなに沢山……

精にまみれながら
うっとり微笑むお姉さん
その姿にボクのアソコは萎える事なく反応してしまう

ふっふ、あんなに出したのに
まだ元気だね

たっえ

お姉さんに搾り取られるのは
まだまだ終わりそうになかった

























































